

水俣病の本質を隠す 補償処理委員会を訴すな

水俣病・五月東京抗議行動・勝利ノ

全日本学生・学生自治会連合会

水俣病とは、熊本県水俣町の水俣川にある、
新日本窒素化学工業株式会社の工場排水の中に含ま
れた有機水銀を原因としたもので、昭和二十八年
年に現われ、形勢は漸く大規模な公害の動
向が注目を集め、まもなく同じ状況が、人間
を襲うようになり、現在までに、四十名以上
の方々が亡くなったという、恐ろしい公害の全
実態なのです。

そして水俣病が昭和二十九年九月二十九日
にやけど、水俣病はもツソの工場排水が原因
である、という政府の認定を受けたのですが、
二十四年の補償と全く同じだ、もう裁判で
責任を付けるしかない、という訴訟が、
今度は公害認定と、これによって、訴訟が、
公害の厚生大臣にもいるから、信じていいだ
らう、あるいは、「裁判をや、まらの見直しを
するから、おぼろげに生活していいだ、」男女の
理由から、結局に悪条件に使う、という一札
を入、た運動者に押印して、銅貨を受けた一紙
紙、水俣病患者連帯会には、お断りせり
たてられました。しかしながら、水俣病患
者連帯会には、新設派、一社派とい、た主要防
衛隊は存在しないのです。

五月二十五日前後に、補償処理委員会が、
一社派連帯会に書翰送付と同行れる回答をしま
す。その回答は新聞報道によれば、死者一時
金三〇〇万円、生者金十、
三十二万、という六つに金額の低い、三、三、
と、ツソの企業責任を隠す、とい、

して、我々は、一社派が補償処理に
二、三、これらの金額は、二十、二、
二、三、とした回答を訴すならば、全国で、
い、公害問題に、また、公害問題を、
考えます。

も、水俣病の問題は、水俣という一地方
だけの問題ではなく、我々の住む東京の、あ
るいは日本全体の問題でもあるのです。大抵
水俣、水俣、水俣、水俣、水俣、
水俣で我々の生活環境そのものを侵してしま
す。

水俣の例でも明らかのように、企業から
に政府は、公害に対して、その本質を隠す、
あつちや政府と国民にかけています。企業は
利潤追求のみをその目的とし、人命を犠牲す
る、と政府はその企業を援助する、というよう
な公害に現われた状況を見れば、公害患者に
補償を、これでは、こんなでは、公害患者に
被害者になるだけでなく、被害者として、
存することになり、ではないでしょうか。
我々青年団は、公害を防止し、追放する、
の力は、地味な活動と、それを、
国民連帯の中にあると、考えます。

今回、水俣病補償処理委員会に対して、
同じく抗議行動が「水俣病を、
を中として、た、
我々青年団は、この抗議行動を、
公害を防止し、追放する、
加え、

五月二十二日(金)

水俣病 五月東京抗議行動を

成功二、三、

時間 午後五時三十分

場所 東京大学本館五階ホール

(二十一日以降の具体的な抗議行動の内容は、
二十一日に明確化します)

日本大学学理と経済都市研究会